



石田 裕二(いしだ・ゆうじ)氏

静岡がんセンター小児科医師

1992年自治医科大学医学部卒。血液腫瘍学の研究に興味を持ち、米国ハーバード大ダナ・ファーバーがん研究所に一年間留学。米国医学に大きな影響を受ける。卒業後一般病院での臨床研修などを経験し、神奈川県立こども医療センター血液科で小児がんの診察にあたる。02年静岡がんセンター小児科。

## 小児がんと家族のサポート

県立静岡がんセンター  
小児科 医師

石田 裕二 氏

**有効な予防策なし**  
小児がんは全身のどの臓器にも発生しますが、白血病が全人のがんと同様、転移したり、浸潤したり、悪性腫瘍の特徴を持っています。しかしながら起る原因、発生する臓器、治療法は大きく異なります。

小児がんは小児期に発生する悪性腫瘍全体の総称です。大人のがんと同様、転移したり、浸潤したり、悪性腫瘍の特徴を持っています。しかしながら起る原因、発生する臓器、治療法は大きく異なります。

頭部には脳腫瘍、目にできる網膜芽細胞腫、悪性リンパ腫や、

習慣など

されていますが、小児がんの場

中高生には骨のがんも多く発生

します。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連

性、環境因子（空気、水、公害

など）、生活習慣との関係も否

定的です。小児がんの予防策に

ついて質問されますが今のところ、有効な予防法はないと考えられます。

日本全体で毎年、新しく小

児がんになる患者の数は約30

00人と推計され、増加傾向に

あります。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連

性、環境因子（空気、水、公害

など）、生活習慣との関係も否

定的です。小児がんの予防策に

ついて質問されますが今のところ、有効な予防法はないと考えられます。

日本全体で毎年、新しく小

児がんになる患者の数は約30

00人と推計され、増加傾向に

あります。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連

性、環境因子（空気、水、公害

など）、生活習慣との関係も否

定的です。小児がんの予防策に

ついて質問されますが今のところ、有効な予防法はないと考えられます。

日本全体で毎年、新しく小

児がんになる患者の数は約30

00人と推計され、増加傾向に

あります。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連

性、環境因子（空気、水、公害

など）、生活習慣との関係も否

定的です。小児がんの予防策に

ついて質問されますが今のところ、有効な予防法はないと考えられます。

日本全体で毎年、新しく小

児がんになる患者の数は約30

00人と推計され、増加傾向に

あります。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連

性、環境因子（空気、水、公害

など）、生活習慣との関係も否

定的です。小児がんの予防策に

ついて質問されますが今のところ、有効な予防法はないと考えられます。

日本全体で毎年、新しく小

児がんになる患者の数は約30

00人と推計され、増加傾向に

あります。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連

性、環境因子（空気、水、公害

など）、生活習慣との関係も否

定的です。小児がんの予防策に

ついて質問されますが今のところ、有効な予防法はないと考えられます。

日本全体で毎年、新しく小

児がんになる患者の数は約30

00人と推計され、増加傾向に

あります。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連

性、環境因子（空気、水、公害

など）、生活習慣との関係も否

定的です。小児がんの予防策に

ついて質問されますが今のところ、有効な予防法はないと考えられます。

日本全体で毎年、新しく小

児がんになる患者の数は約30

00人と推計され、増加傾向に

あります。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連

性、環境因子（空気、水、公害

など）、生活習慣との関係も否

定的です。小児がんの予防策に

ついて質問されますが今のところ、有効な予防法はないと考えられます。

日本全体で毎年、新しく小

児がんになる患者の数は約30

00人と推計され、増加傾向に

あります。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連

性、環境因子（空気、水、公害

など）、生活習慣との関係も否

定的です。小児がんの予防策に

ついて質問されますが今のところ、有効な予防法はないと考えられます。

日本全体で毎年、新しく小

児がんになる患者の数は約30

00人と推計され、増加傾向に

あります。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連

性、環境因子（空気、水、公害

など）、生活習慣との関係も否

定的です。小児がんの予防策に

ついて質問されますが今のところ、有効な予防法はないと考えられます。

日本全体で毎年、新しく小

児がんになる患者の数は約30

00人と推計され、増加傾向に

あります。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連

性、環境因子（空気、水、公害

など）、生活習慣との関係も否

定的です。小児がんの予防策に

ついて質問されますが今のところ、有効な予防法はないと考えられます。

日本全体で毎年、新しく小

児がんになる患者の数は約30

00人と推計され、増加傾向に

あります。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連

性、環境因子（空気、水、公害

など）、生活習慣との関係も否

定的です。小児がんの予防策に

ついて質問されますが今のところ、有効な予防法はないと考えられます。

日本全体で毎年、新しく小

児がんになる患者の数は約30

00人と推計され、増加傾向に

あります。

大人のがんは、喫煙など生

活習慣とがん発生の関係が指摘

されていますが、小児がんの場

合は違います。食生活との関連